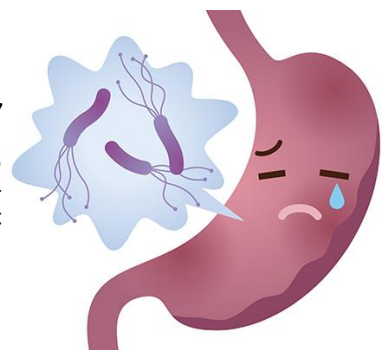


ヘリコバクター・ピロリ抗体IgG検査

ヘリコバクター・ピロリ菌ってどんな菌？

ヘリコバクター・ピロリ菌は、胃の粘膜に生息しているらせん状をした細菌です。数本のべん毛をもち、これを回転させて活発に動き回り、人の胃粘膜の表面や細胞の間に入り込んで炎症を起こします。

胃には強い酸(胃酸)があるため、昔から細菌はいないと考えられていましたが、その発見以来、さまざまな研究から、ピロリ菌が胃炎や胃潰瘍などの胃の病気に深く関わっていることが明らかにされてきました。



どこから感染したの？

ヘリコバクター・ピロリ菌は、母子感染や経口感染が多いと考えられています。日本では井戸水からの感染の可能性が報告されており、特に小児期までに感染が成立すると考えられています。親がピロリ菌に感染している場合は、幼児に口移しで食べ物を与えないなどの注意が必要です。

採血検査ですので、胃潰瘍や十二指腸潰瘍を繰り返す方は、一度検査してみてください。



※上部内視鏡検査が必須となります。